

基礎的・汎用的能力は、活動名ではなく育てたい力を見る視点です。

基礎的・汎用的能力を授業でどう見るか整理シート

基礎的・汎用的能力とは、
学校や社会のいろいろな場面で共通して使う
力です。

「この活動をやったか」ではなく、
「どんな力を育てたいか」を考えると時の手がかりに
なります。

4つの視点

- 人と関わる力
- 自分を理解し整える力
- 課題に向き合う力
- 将来を考えつなぐ力

出所：文部科学省「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」等を参考に、授業で見やすい形へ整理

4つの力を、授業で見える言葉に言い換えます。

まずは意味をやさしくつかむ

① 人間関係形成・社会形成能力

- ・人と関わる力
- ・相手を受け止め、協力し、集団や社会とかかわる力

② 自己理解・自己管理能力

- ・自分を理解し整える力
- ・自分の考え・よさ・課題を知り、気持ちや行動を調整する力

③ 課題対応能力

- ・課題に向き合う力
- ・課題を見つけ、考え、試し、よりよい方法を探る力

④ キャリアプランニング能力

- ・将来を考えつなぐ力
- ・学びと生活、将来の生き方を結び付けて考える力

一つの授業でも、見える力は複数あります。

授業場面で考える例

例：地域の課題を調べ、提案する授業

調べる

話し合う

まとめる

発表する

見取る視点

- ・友だちの意見を聞いて役割を分担している → ①
- ・自分の得意・苦手を言葉にしている → ②
- ・調べ方を変えながら課題を解いている → ③
- ・地域と自分の未来のつながりを考えている → ④

一つの活動に一つだけ能力を当てはめるのではなく、「どの力が見えたか」を柔らかく見る大切です。

授業の目標に沿って、言葉や行動を短い観察メモに残します。

授業後に残す 3 つの視点

① 生徒の言葉を見る

- どんな発言があった？
- 自分や相手についてどんな気づきがあった？

② 生徒の行動を見る

- どんな関わり方をした？
- どんな工夫や試行が見えた？

③ 次への手がかりを見る

- 次に何をやってみたいと言った？
- どの活動でさらに伸ばせそう？

言葉・行動・作品を合わせて確かめ、本人のよさや必要な支援を次の授業に生かします。

4つ全部を一度に見ようとせず、一つの授業で一つか二つに絞ります。

初回相談 30 分無料

使い始めのポイント

- まずは育てたい力を一つ決める
- 授業のどの場面で見えるかを考える
- 授業後に短い観察メモを残す

相談窓口：toi.manabi@gmail.com（資料番号を添えて相談できます）



その後は支援範囲と費用を確認し、お見積もりします。

授業で育てたい力を、一緒に見える化します。